

氏名	鈴木 文明 (スズキ・ブンメイ)
所属	名寄市立大学短期大学部児童学科
職名	教授
研究室連絡先	電話 01654-2-4194 (ダイヤル 3311) FAX 01654-3-3354 (事務局) E-mail bunmei@nayoro.ac.jp
ホームページ URL	

学歴	中京大学体育学部武道学科卒業 中京大学大学院体育学研究科修士課程 (社会体育学専攻) 修了
職歴	1987年～ 北海道拓殖短期大学 (現: 拓殖大学北海道短期大学) 専任講師 1998年～ 市立名寄短期大学助教授 2004年～ 市立名寄短期大学教授 現在は名寄市立大学短期大学部児童学科教授
学位	体育学修士 (中京大学体育学研究科)
免許・資格	レクリエーション・インストラクター、スクーバダイビング・オープンウォーター
研究分野	スポーツ社会学、地域スポーツ論
現在の研究課題	・平成21-22年度文部科学省科学研究費補助金基盤研究(B)「東アジアにおけるメガスポーツイベントと都市再編をめぐる比較社会学」研究代表者: 大沼義彦 (北海道大学) ・スポーツからみた国家観/民族観の変容に関する研究—越境する学校での出来事
主な担当科目	体育、スポーツ論

研究・教育業績	<ul style="list-style-type: none"> ・平成12～14年度文部科学省科学研究費補助金萌芽研究「グローバル化と地域スポーツ—国際的スポーツ大会が地域社会に及ぼす影響—」研究代表者: 鈴木文明 ・「2002FIFAワールドカップと在日朝鮮人: 大阪生野区・コリアタウンにおけるワールドカップ観戦会を通して」、平成14-15年度科学研究費補助金 (基盤研究(B)(1)) 研究成果報告書『W杯サッカー日韓共同開催をめぐる地域変動: 環境・NPO・ネットワークに関連して』研究代表者: 松村和則 (筑波大学) 2004年 ・「定住外国人にとってのメガ・スポーツイベント: 在日朝鮮人集住地域におけるFIFAワールドカップアジア地区最終予選」、日本体育学会第56回大会発表論文集 2005年 ・「2002FIFAワールドカップと在日朝鮮人集住地区—W杯観戦会の経験はコリアタウンに何を遺したのか」、松村和則編『メガ・スポーツイベントの社会学』南窓社 2006年 ・高内正子編著『子どものこころとからだを育てる保育内容「健康」』、第5章33節「健康と自然環境について」、同34節「子どもと自然の問題」保育出版社 2008年 ・「宮城県及び仙台市の集客スポーツへの対応」、「宮城県及び仙台市におけるプロスポーツ支援組織」、「ベガルタ仙台の事例」、「山形県における集客スポーツの事例」、以上を平成18・19年度文部科学省研究費補助金 (基盤研究(C)) 報告書『集客スポーツを利用した都市活性化と地域変動: 中核都市と周辺部に着目して』(研究代表者: 大沼義彦) に所収。 ・「在日朝鮮人一世の女性が語る生活の記憶とスポーツの記憶」、日本体育学会第59回大会体育社会学専門分科会発表論文集、2008年
---------	---

学会活動	日本体育学会会員 (1980年～) 北海道体育学会会員 (1987年～) 日本スポーツ社会学会会員 (1998年～) 日本体育学会体育社会学専門分科会理事 (2006年～)
------	---

社会活動	名寄市利雪親雪推進委員会委員 (2006年～) 名寄市スポーツ振興審議会副会長 (2006年～) コリア NGO センター専門委員 http://korea-ngo.org/ (2004年～) コリアン・インターナショナル・スクール設置準備委員会評議員 (2006年～) 幼稚園教諭免許更新講座講師 (2009年～)
------	--

受賞	
----	--

コメント	
------	--